

- 1 単元 天気と情報 (2) 台風と天気の変化
- 2 指導計画 (5時間完了)
  - (1) 台風の接近と天気・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3時間 (本時2 / 3)
  - (2) マイタイム・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
  - (3) たしかめよう・学んだことを生かそう・・・・・・・・ 1時間

3 本時の指導

(1) 目標

- 台風の動きと天気の変化を考察し、自分の考えを表現できるようにする。

**I C T活用のねらい**  
 ○ 雲や風の動きを動画で提示し、同時に比較することで、台風と雨量や風の関係についての気付きを増やす。

(2) 準備

電子黒板 デジタルコンテンツ ホワイトボード マーカーペン

(3) 指導計画

時間配分	学習活動	指導上の留意点
3分	1 本時の課題を知る。	
課題：台風が近付いたときの気象情報をもとに、天気の変化を予想しよう		
15分	2 気象情報をもとに、台風の進路をまとめる。 (1) 台風の雲のかたまりを捉え、中心の位置や日付をノートに記述する。 (2) 台風の中心を線でつなぎ、台風の動き方について考える。 (3) 詳しい台風の動きを、デジタルコンテンツで確認する。	○ 台風の中心がはっきりしない場合は雲の白色が濃く、渦を巻いているところを中心とするようにさせる。 ○ 日付の順に線を引かせることで、台風がおよそ日本近海でカーブしていることをつかませる。 ○ 2015年の雲の動きが分かる動画を見て、台風が南から北に向かって移動していくことを視覚的につかませる。
25分	3 台風と天気の変化の関係を考える。 (1) ノートに集めた情報や生活経験を基に、台風の進路と雨量や風量の関係を話し合う。 (2) 話し合った内容を発表する。 (3) 話し合った内容を動画で確かめ、台風と天気の変化の関係をノートにまとめる。	○ 話し合いから出た意見は、ホワイトボードにまとめさせる。 ○ 発表するときは、ホワイトボードを提示しながら発表させる。 ○ 2005年9月の気象情報をまとめた動画を見せ、風の向きや雨量の変化を確認させる。 ○ 台風が近付いた時の雨や風の変化をノートに記述させる。
<p><b>評価事項</b>                      台風が近付いたときの気象情報を基に、天気の変化を予想し、表現している。                      【発言・ホワイトボードへの記述】(思考・表現)                      □… 動画を繰り返し提示しながら、台風と天気の変化を確認させる。                      ☆… 台風が過ぎ去った後の、天気の様子や変化についても考えさせる。</p>		
2分	4 次時の学習の見通しをもつ。	○ 次時の学習では、台風の被害と恵みについて学習することを知らせる。

※ゴシック体・・・I C Tを活用する学習活動及び指導上の留意点